

酸味が少なく糖度が高い ニホンスモモ新品種「ハニービート」

ニホンスモモは「大石早生すもも」と「ソルダム」が二大品種であり、これらで全栽培面積の約半分を占めています。しかし、両品種とも酸味が強く、甘味をより好む現在の消費者嗜好には合わないため、生産は大きく減少しています。代わりに、酸味の少ない「太陽」、「貴陽」、「サマーエンジェル」などの品種が増えていますが、いずれも中生以降の品種です。そこで酸味が少なく糖度が高く、既存品種よりも早い時期に収穫できる新品種「ハニービート」を育成しました。

☆ 技術の概要

1. 「ハニービート」の収穫盛期は育成地（茨城県つくば市）では7月中旬頃で、「サマーエンジェル」及び「ソルダム」より約10日早く収穫できます（表1）。
2. 「ハニービート」の果実の大きさは120g程度で「ソルダム」と同程度です。糖度は15%程度と「ソルダム」より高く、酸度はpH4.4程度と「ソルダム」及び「サマーエンジェル」より少なく食味は良好です（表2、写真1）。
3. 「ハニービート」の果皮は紫色で、果肉は黄色です（写真2）。
4. 「ハニービート」は他の主要品種に比べて黒斑病の発生は少ない傾向です。



写真1 「ハニービート」の結実状況



写真2 「ハニービート」の果実

表1 「ハニービート」の樹の特性

品種	樹姿	樹勢	短果枝の着生	花芽の着生	開花盛期	収穫盛期	S 遺伝子型
ハニービート	中間	やや強	中	中	3月30日	7月12日	$S_c S_f$
サマーエンジェル	中間	やや強	やや多	多	3月30日	7月21日	$S_b S_c$
ソルダム	中間	やや強	やや多	多	3月30日	7月23日	$S_a S_b$

（農研機構つくば 2014-2016）

表2 「ハニービート」の果実の特性

品種	果形	果皮色	果肉色	果実重 (g)	糖度 (%)	酸度 (pH)
ハニービート	円	紅紫	黄	128	15.5	4.4
サマーエンジェル	扁円	紅～紅紫	黄	149	16.0	4.0
ソルダム	円	紅	濃紅	129	13.3	3.8

（農研機構つくば 2014-2016）

☆ 活用面での留意点

1. 果梗部を中心に輪紋が発生しやすいため、成熟期に降雨が多いと裂果の発生が多くなる可能性があります。
2. 自家不和合性のため受粉樹が必要です。「貴陽」及び「小松すもも」を除く我が国の主要品種は受粉樹として使用することができます。苗木は平成30年秋から販売されています。
3. 詳細については、農研機構果樹茶業研究部門にお問い合わせください（電話：029-838-6466）。
（農研機構果樹茶業研究部門 品種育成研究領域 核果類育種ユニット長 八重垣 英明）